

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年12月17日
【会社名】	株式会社メドレー
【英訳名】	MEDLEY, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 瀧口 浩平 代表取締役（医師） 豊田 剛一郎
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木三丁目2番1号
【電話番号】	03-6372-1265
【事務連絡者氏名】	取締役 コーポレート本部長 田丸 雄太
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木三丁目2番1号
【電話番号】	03-6372-1265
【事務連絡者氏名】	取締役 コーポレート本部長 田丸 雄太
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、2020年12月17日開催の取締役会において、株式会社パシフィックシステム（以下「パシフィックシステム社」といいます。）の株式を80%取得し、子会社化することを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 子会社取得の決定

(1) 取得対象子会社に関する事項

① 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社パシフィックシステム
本店の所在地	高知県宿毛市幸町5番12号
代表者の氏名	代表取締役 小松 広行
資本金の額	32百万円
純資産の額	112百万円（2020年3月31日現在）
総資産の額	331百万円（2020年3月31日現在）
事業の内容	電子カルテシステムの開発及び販売、受託システムの請負、サーバー機器の保管及び保守、システム導入に関する企画・設計及びコンサルティング

② 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	478百万円	552百万円	615百万円
営業利益	11百万円	12百万円	10百万円
経常利益	13百万円	22百万円	13百万円
当期純利益	10百万円	16百万円	9百万円

③ 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。

人的関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。

取引関係 当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、「医療ヘルスケアの未来をつくる」というミッションを掲げ、医療ヘルスケア領域において社会の実需に対応した事業を展開しております。インターネット等の技術を活用して医療ヘルスケア領域のデジタルトランスフォーメーションを推進し、患者と医療従事者の双方にとって納得できる医療を実現することを目指しております。現在は、医療ヘルスケア領域における人材の不足や地域偏在という課題を解決する人材プラットフォーム事業として「ジョブメドレー」を、医療機関の業務効率の改善や患者の医療アクセスの向上等を実現するための医療プラットフォーム事業として「CLINICS」、「Pharms」及び「MEDLEY」を展開しております。

一方、パシフィックシステム社は17年間に渡り、中小病院向けに電子カルテを開発・提供しております。同社の電子カルテは、低コスト及び高機能性の双方を実現しているため、過去17年間の利用継続率は98%を誇り、高い顧客満足度を得ております。

パシフィックシステム社が強みとする中小病院向け電子カルテの市場は拡大傾向にあるものの、依然として紙カルテが過半を占めており、デジタル活用が遅れています。当社は、高齢化・過疎化が進展する日本において、持続可能な地域医療を実現するには、低コストかつ高機能な中小病院向け電子カルテの普及が重要であると考えております。

今般のパシフィックシステム社の子会社化は、病院向け電子カルテ市場への参入を目的としております。今後、両社は、当社の顧客基盤を活用した病院向け電子カルテのシェアの拡大、及びオンライン診療システムとの連携等のシナジーを積極的に創出することで、医療ヘルスケア業界のデジタル活用を加速させていただきます。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

パシフィックシステム社の普通株式	792百万円
アドバイザー費用等（概算額）	31百万円
合計（概算額）	823百万円

以上